

“Ryzenで自作PC”なら AM5/AM4の基本をチェック

**AM5とAM4が分かれば
Ryzenが分かる!**

初めてAMD Ryzenを使う
て自作PCを組むならまず覚えてほしいのが、「Socket AM5（以下、AM5）プラットフォーム」と「Socket AM4（以下、AM4）プラットフォーム」の特徴だ。AM5とAM4では、マザーボード上にあるCPUを装着する箇所「ソケット」(Socket)の形状が異なっており、AM5対応CPUはAM5対応ソケット(のマザーボード)を組み合わせる必要がある。

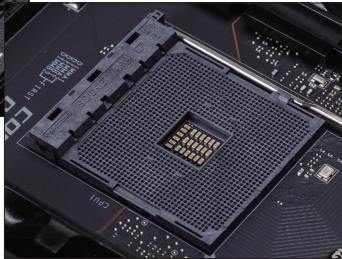
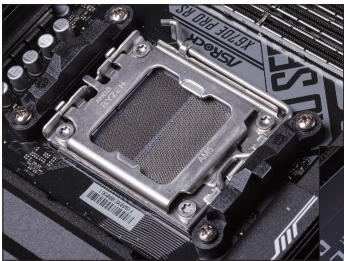
AM5は2022年に登場したプラットフォーム(ソケット形状)で、ゲームに強いCPUとして人気の「AMD Ryzen 7000 X3D」をはじめ、D

DR5メモリーやPCI Express Gen5など最新技術をサポートしており、3Dゲームを快適に遊べるゲーミングPCを構築したい場合に向いている。USB4搭載マザーボードも登場しているため、大容量データを最新のポータブルSSDに高速に転送して保存したいクリエイターにも最適だ。

AM4は、2016年に登場したプラットフォームだ。利用中の自作PCで使っているパーツ、例えばDDR4メモリーやPCI Express Gen4対応SSDを活かしたい場合に特に役立つ。息の長いプラットフォームだけあってこなれた価格で入手できる対応パーツや周辺機器が豊富なため、普段使いのPCを組みやすい。

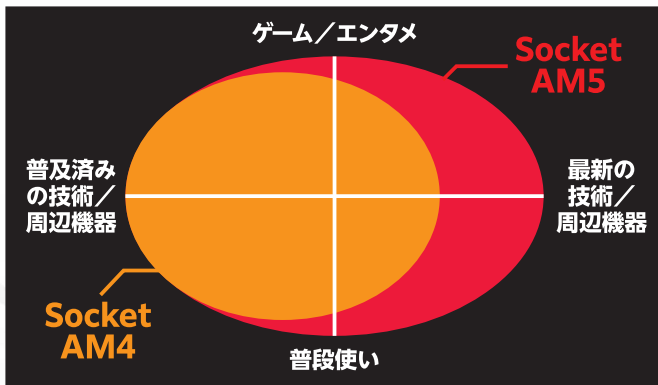
◀Socket AM5はオールマイティといえるプラットフォームで、最新パーツや周辺機器を利用できる。Socket AM4は運用中の既存のパーツなどを利用しやすい。

CPUソケットの形状が異なる点をチェック



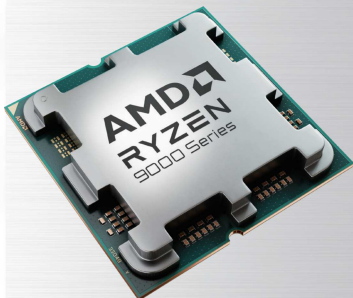
↑↓Socket AM5とSocket AM4は、マザーボード上にあるCPUを装着する「ソケット」の形状が異なる。上がAM5対応ソケットで、下がAM4対応のものだ。

Socket AM5とSocket AM4の特徴を把握しよう!



Socket AM5対応のCPUとチップセット

Socket AM5は「AMD Ryzen 9000」シリーズといったCPUと「AMD X870E / X870」などのチップセットが対応する。DDR5メモリー、PCI Express Gen5といった最新技術を取り入れたパーツ、メモリーオーバークロック技術の「AMD EXPO」が利用できる。AMD X870E / X870ではUSB4も対応している。

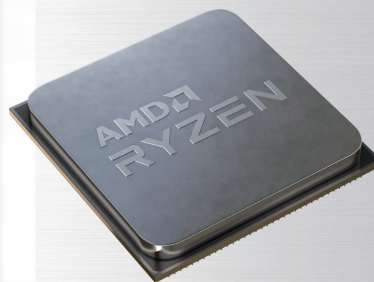


↑AMDの新CPUアーキテクチャー「Zen 5」ベースの「AMD Ryzen 9000」シリーズをサポートしている。

対応CPU
AMD Ryzen 9000シリーズ
AMD Ryzen 8000シリーズ
AMD Ryzen 7000シリーズ
対応チップセット
AMD X870E/X870
AMD B850/B840
AMD X670E/X670
AMD B650E/B650
AMD A620/A620A

Socket AM4対応のCPUとチップセット

Socket AM4がサポートしているのは、「AMD Ryzen 5000」シリーズや「AMD Ryzen 4000」シリーズといったCPU、また「AMD X570」などのチップセットだ。DDR4メモリー、PCI Express Gen4に対応しているため、豊富に流通している安価なパーツや現在使っている自作PCのパーツも組み合わせやすい。



↑Socket AM4では、8月に発売された新CPUの「Ryzen 9 5900XT」「Ryzen 7 5800XT」を利用できる。

対応CPU
AMD Ryzen 5000シリーズ
AMD Ryzen 4000シリーズ
AMD Ryzen 3000シリーズ
対応チップセット
AMD X570
AMD B550
AMD A520
AMD X470
AMD B450